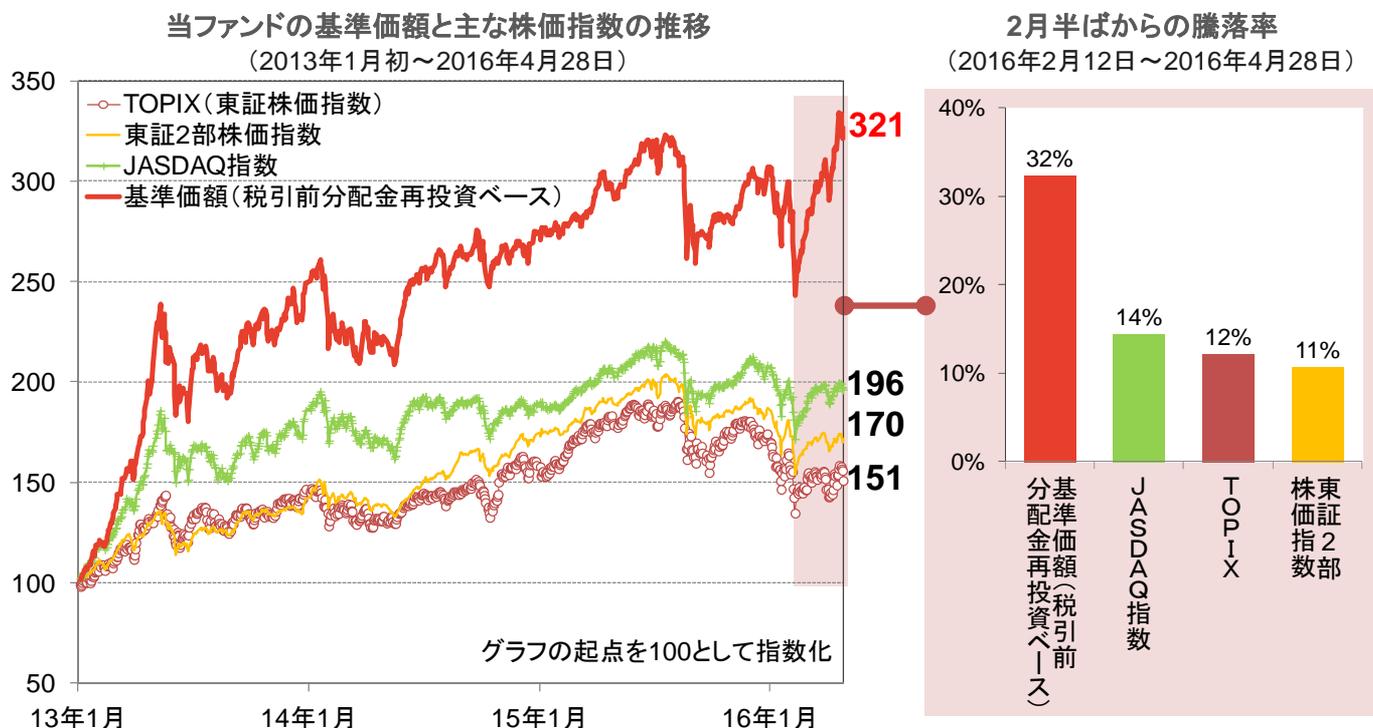




## 日本新興株オープン 良好なパフォーマンスと今後の展望

- アベノミクスへの期待などを背景に大きく上昇した日本株式市場は、2015年夏以降、世界景気の減速懸念などから調整する局面がみられたものの、2016年2月中旬以降、原油価格が戻り基調となり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、緩やかに持ち直す動きとなっています。
- そうしたなか、足元で、新興企業への注目が高まっています。2月半ば以降の当ファンドの基準価額は大きく上昇する展開となり、4月28日までの騰落率は+32%と好調なパフォーマンスとなりました。
- 次ページ以降では、当ファンドのパフォーマンスの振り返りや今後の見通しなどについてご紹介いたします。

### 当ファンドのパフォーマンスは堅調に推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

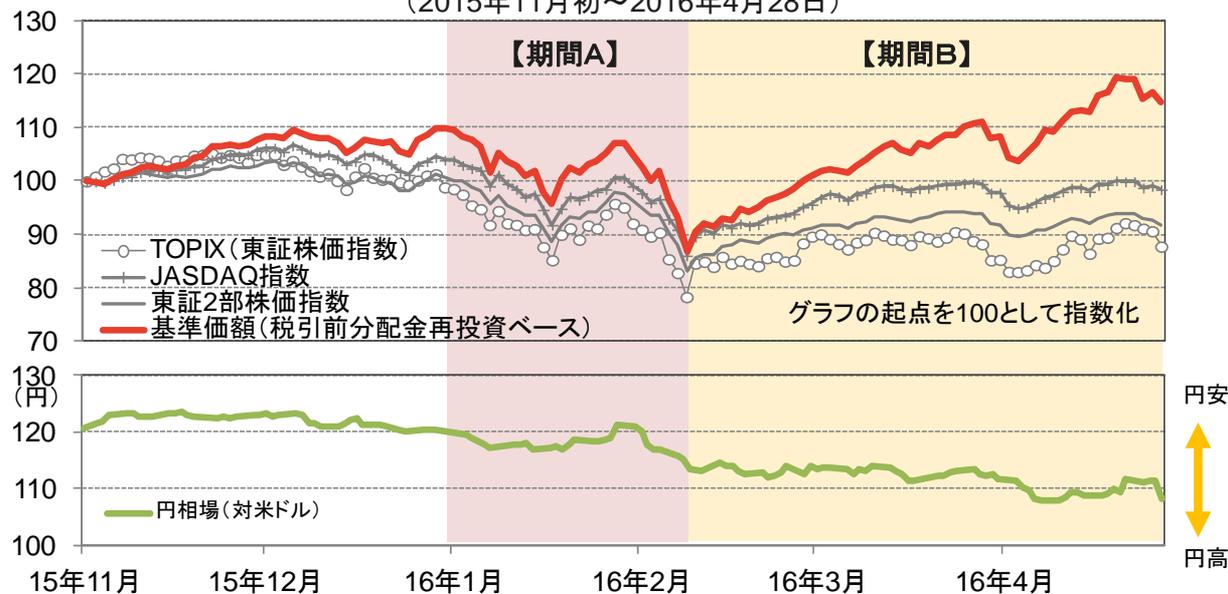
■当資料は、投資家の皆様に「日本新興株オープン」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の市況と  
基準価額の動向

**新興株式への注目が高まるなか  
ファンドの銘柄選定が奏功**

- 2016年初以降、中国の景気減速懸念や原油価格の下落などを背景に、世界的に株式市場は変動の大きい展開が続き、投資家が警戒感を強めるなか、当ファンドの基準価額も軟調な推移となりました。【期間A】
- 2月中旬以降は、原油価格の持ち直しなど外部環境の改善から、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことを背景に、日本の株式市場は緩やかに持ち直す展開となりました。しかしながら、円高・米ドル安が進んだことから、為替の影響を受けやすい大型株は上値の重い動きとなりました。一方で、相対的に為替の影響が小さいとされる新興株式市場へは資金流入が続く展開となりました。【期間B】
- そうしたなか、当ファンドの基準価額は大きく上昇しました。特に、様々な分野への活用が進むクラウド・コンピューティングやIoT(モノのインターネット化)を支えるソフトウェア、また、一般消費者向け配送サービスなどへの利用拡大が期待されるドローン(小型無人機)に加え、ITを駆使した新たな金融サービスであるフィンテックなど、急速に発展するテクノロジー分野への注目が世界的に高まるなか、成長期待の高いIT関連銘柄への投資が功を奏しました。
- そのほか、主力企業への新薬導出や大手製薬企業との技術提携の発表などを受け、収益成長期待が高まったバイオベンチャー関連銘柄、マイナス金利導入の恩恵を受けるとみられる、不動産投資事業や投資用物件開発請負・管理などの不動産関連銘柄の株価が大きく上昇したことも、当ファンドのパフォーマンスを押し上げました。

当ファンドの基準価額と主な株価指数、円相場(対米ドル)の推移  
(2015年11月初～2016年4月28日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「日本新興株オープン」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位  
銘柄の変遷

## 高いパフォーマンスを支える 銘柄選別と投資銘柄の入れ替え

- 新興株式市場は、資金の流出入ペースが速く、株価の変動率も高いため、銘柄の選定眼とともに機動的な投資判断が重要と考えられます。当ファンドでは、市場の変動に即した銘柄選定と、機動的な投資判断により、以下のように銘柄の入れ替えを行いました。

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

### < 2016年1月末 > (銘柄数 73銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	USEN	情報・通信業	3.61%
2	エン・ジャパン	サービス業	3.21%
3	日本精密	精密機器	2.53%
4	いちごグループ ホールディングス	不動産業	2.47%
5	アイティメディア	サービス業	2.45%
6	第一興商	卸売業	2.36%
7	そーせいグループ	医薬品	2.34%
8	セリア	小売業	2.27%
9	タカラバイオ	化学	2.18%
10	VTホールディングス	小売業	2.12%

### < 2016年2月末 > (銘柄数 71銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	そーせいグループ	医薬品	3.33%
2	USEN	情報・通信業	3.08%
3	日本精密	精密機器	3.07%
4	エン・ジャパン	サービス業	2.80%
5	セリア	小売業	2.60%
6	第一興商	卸売業	2.50%
7	タカラバイオ	化学	2.44%
8	ヨシックス	小売業	2.43%
9	IBJ	サービス業	2.21%
10	ハンズマン	小売業	2.13%

### < 2016年3月末 > (銘柄数 79銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	タカラバイオ	化学	3.10%
2	そーせいグループ	医薬品	3.08%
3	エン・ジャパン	サービス業	2.94%
4	USEN	情報・通信業	2.68%
5	ジグソー	情報・通信業	2.27%
6	いちごグループ ホールディングス	不動産業	2.23%
7	日本精密	精密機器	2.18%
8	ピーシーデポ コーポレーション	小売業	2.05%
9	ヨシックス	小売業	2.01%
10	IBJ	サービス業	1.95%

### < 2016年4月末 > (銘柄数 79銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	エン・ジャパン	サービス業	2.93%
2	USEN	情報・通信業	2.57%
3	IBJ	サービス業	2.42%
4	タカラバイオ	化学	2.41%
5	そーせいグループ	医薬品	2.34%
6	ピーシーデポ コーポレーション	小売業	2.29%
7	フィックスターズ	情報・通信業	2.28%
8	ハンズマン	小売業	2.13%
9	ジグソー	情報・通信業	1.96%
10	シノケングループ	不動産業	1.91%

※上記銘柄について、将来の保有を約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資家の皆様に「日本新興株オープン」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の  
見通し

## 幅広い角度から投資アイデアを創出し 投資魅力の高い銘柄の選択に注力

- 今後は、より銘柄選別の重要性が増すとみられるものの、好業績の銘柄を中心に中小型株の上昇が期待できる展開が続くと考えています。世界景気に先行き不透明感が残り、外需関連企業の業績の下方修正などが目立つなか、海外の景気動向の影響を受けにくく、独自の成長要因を擁する新興企業への注目は引き続き高いとみています。
- 様々な分野での活用が期待されるクラウド・コンピューティングやIoTに加え、実用化に向けた取組みが進む自動運転車、商業利用の拡大が期待されるドローンなど、市場規模の拡大が見込まれる新しいサービスや技術を提供するIT関連分野は、今後も主要な投資テーマであると考えています。
- また、引き続き、バイオベンチャーにも注目しています。日本のバイオベンチャーの技術は世界的に評価され始めており、足元で、国内外の大手製薬企業との提携が相次ぐなど、収益拡大が期待されています。
- マイナス金利下において、行き場を失った投資資金がどこに向かうかを考慮しつつ、幅広い角度から投資アイデアの創出に努め、今後も企業への直接取材等の調査活動を通じて、新興企業の発掘を行なってまいります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

#### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「日本新興株オープン」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お 申 込 メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2021年12月20日まで(1996年12月27日設定)
決算日	毎年12月18日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

## 手 数 料 等 の 概 要

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

〈お申込時、ご換金時にご負担いただく費用〉

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3.0%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

〈信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用〉

信託報酬	純資産総額に対して <u>年率1.6416%(税抜1.52%)</u> を乗じて得た額
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など ※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 資産管理サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三菱東京UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱東京UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)